



黒田さん追悼コメント

「黒田さんに教えていただいた、『被災者である前に一人の人間であることを忘れない』という基本姿勢を常に忘れず、後輩にもしっかりと引き継いでいきます。数々の貴重な学びを誠にありがとうございました」

手塚文裕(はまらいんや代表・法学部2年)

.....

「相手に何かしてあげられると思ったら大間違い。相手に寄り添い、気持ちを分かろうとする自分がいるということが、相手にとって大事なことなのだと、教えていただきました」

大和田茉穂(法学部3年)

.....

「黒田さんは私たちに『次の社会を担う者の一人』として多くの学びをくださいました。志半ばでご逝去された先生の思いを感じながら、震災後の3年間に学んだことを、仲間とともにこれからの人生と社会に生かしたいと思えます。ご冥福をお祈りいたします」

宮崎汐里(文学部4年)

「ボランティアとして人と向き合う上で、『対被災者』ではなく、その人の暮らし、背負うもの、これまでの生きざまを受け止め、一人の人間として寄り添うように向き合う姿勢を黒田さんのすべてから学ばせて頂きました」

喜久里彩芳(法学部4年)

.....

「時に叱られ、時に励まされ、大きな愛情で私たちを包みこんでくださった黒田さん。被災地のため、昼夜をおかず奔走するそのお姿を忘れることができません。そんな黒田さんの熱い思いを自分の中で再び目覚めさせ、精いっぱい職務に励んでいきます」

白倉隆之介(前はまらいんや代表、2013年度卒、総務省)

.....

「黒田さんは『仮設住民の力』であり続け、若い学生には『人が人に向き合うとはどういうことか』インスパイアする存在でした。命が尽きる最後の夏まで中大生を可愛がり対峙してくださったこと、感謝します」

中澤秀雄(法学部教授)